

# 総合戦略効果検証評価表

令和4年度実施事業評価

みんなで未来をつくるまち

～手と手を取り合い住みつづけたい しめ～



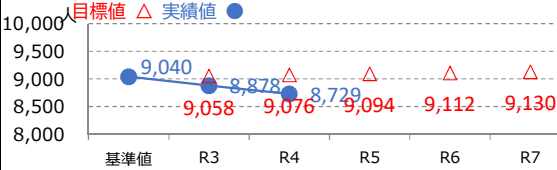
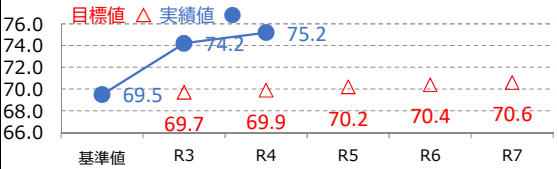
令和5年12月



志免町 経営企画課

<b>総合戦略効果検証評価表</b> (事業実施年度:令和 04 年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	1. 出産・子育ての希望をかなえる	関係課	子育て支援課、福祉課、健康課、まちの魅力推進課、住民課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
0~17歳の子どもの人数 【総合戦略】	人	9,040	9,076		b
子どもを育てやすいまちだと感じる 保護者の割合 【総合戦略】	%	69.5	69.9		a

判定:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

1-a 子育てしやすい保育環境を整える

●待機児童の解消 ●保育の質の向上 ●多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善

所管課

子育て支援課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
待機児童数(保育園) 【総合戦略】 1-a	人	24 ↓	0 0		S
待機児童数(学童保育所) 【総合戦略】 1-a	人	72 ↓	0 0		S

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

待機児童の解消	多様な運営主体の参画の促進を図りながら、地域の保育需要にあった認可保育園や学童保育所などの整備を行うとともに、保育士の働きやすい環境を整えるなど、保育人材の確保を進めることにより待機児童を解消します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な保育ニーズに応えられるよう、役場窓口や子育て支援センターにおいて、教育保育施設の機能や利用方法などの説明を強化し、利用者がニーズに合った施設を選択でき、令和5年4月1日現在の待機児童数0名を維持した。</li> <li>学童保育所の待機児童解消と1支援単位の少人数化を図るため、民間施設を活用した志免西第5学童の移設と第6・7学童の開設に向けて、学童整備工事を行った。</li> <li>保育士や学童支援員の負担軽減のため、町立保育園と学童保育所のICTの本格稼働を行い、利用促進を図った。</li> <li>保育士や学童支援員の処遇改善のため、補助金を支給した。</li> </ul>
課題	・町立保育園、私立保育園ともに保育士が不足している。
R6年度取り組み方針	・保育士不足解消のため、保育業務に従事する雇用の幅を広げ確保する。
保育の質の向上	保育園などにおいて、子どもの最善の利益が優先して考慮されるよう研修機会の充実などにより保育の質を向上させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>町立保育園の保育士に対して独自研修を実施し、研修への参加も計画的に行った。</li> <li>町立保育園が主催し、町内保育施設の職員を対象とした研修を実施した。</li> <li>認可保育園等が適切な保育等が提供できるよう、県と合同で指導監査を行った。</li> <li>学童支援員に対して放課後児童支援員の資格取得を推進した。</li> </ul>
課題	・保育士が不足しているので研修機会の時間を確保することが難しい。
R6年度取り組み方針	・園長会等を活用し事例や課題を共有することにより、保育の質の向上に繋がる情報交換の場の構築に取り組む。
多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善	個々のライフスタイルや多様なニーズに対応した保育を充実させるとともに、保育環境を改善します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立保育園が実施する延長保育や一時預かり保育に対し補助金を給付した。</li> <li>「ファミリー・サポート・センターしめ」が子育て援助活動の会員募集や講座、マッチング調整を行った。</li> <li>一時的に家庭での養育が困難な児童を児童福祉施設で一定期間必要な保護を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士不足により私立保育園が実施する一時預かり事業が縮小傾向となっている。</li> <li>「ファミリー・サポート・センターしめ」のまかせて会員の応募が少ない。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立保育園が実施する延長保育、一時預かり保育に対し補助を行う。</li> <li>ファミリー・サポート・センターの事業内容の周知と会員確保を行う。</li> <li>「子どもショートステイ事業」を周知し、一時的に家庭で児童の養育が困難となった世帯に利用してもらう。</li> </ul>

1-b 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる	所管課
●子育てに関する相談体制の充実 ●子育て世帯の交流機会の充実 ●子育てに関する情報発信の充実	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
子育てについて情報を知りたいときや相談したいときの相談体制に満足している町民の割合 【総合戦略】	%	77.7	80.0		S
1-b		88.3			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

子育てに関する相談体制の充実	子育てに関する不安感や負担感を軽減できるよう、わかりやすく気軽に相談できる体制を充実させるとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センターにおいて、子育てに関する情報提供や月齢や年齢に応じた講座等の実施、身近な子育て相談の充実を図った。</li> <li>子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期から子育て期までの疑問や質問、相談に対応し、保健師等がサポートを行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代包括支援センターの認知度は上昇しているが、十分ではない。(R3年度:46.6%→R4年度:63.9%)</li> <li>子育てに関する相談場所が身近にない地域がある。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に出向いて子育てサロンや子育て相談を実施する。</li> <li>子育てに関する相談や支援充実のため、体制を整備するとともに、各関係機関との連携を進める。</li> <li>全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行えるよう子ども家庭センターを設置する。</li> </ul>
子育て世帯の交流機会の充実	子育て世帯が地域から孤立することがないように、利用者のニーズにあった子育て講座や交流の機会を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前の子どもと保護者を対象に、毎月1回子育て広場を開催した。</li> <li>志免中学校・志免東中学校で0歳児家庭を対象とした出張赤ちゃんサロンや、親子で楽しめる外遊び等を実施し、子育て家庭が交流しやすい場を提供した。</li> <li>子育てを共感し学び合う環境をつくるために、子どもの成長に合わせた子育ての悩みを解消するための教室を行い、参加者の交流を促した。</li> </ul>
課題	関係課が同様の目的及び対象者の教室を重複開催している。
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関する事業を地域の施設等で開催するなど子育て世帯が利用しやすい環境を整える。</li> <li>子育て支援センターを地域の子育て拠点とし、多様な学習の機会や相談の場を提供する。</li> <li>子育て教室を周知し、より多くの方へ子育てに関する情報提供や子育て世代間の交流の機会を提供する。</li> <li>重複する事業を統合し、ニーズが高い事業(乳幼児発達相談事業)を推進する。</li> </ul>
子育てに関する情報発信の充実	子育てに関する行政サービスの案内や地域の情報を、様々な方法を活用し、わかりやすく、積極的に発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「志免町子育てガイド」を作成し、子育て支援センターや健康課窓口で配布した。</li> <li>「幼稚園・保育園ガイド」を作成し、施設の紹介や手続きについて周知した。</li> <li>子育てモバイルサービス「すくすくしめ☆Kids」をアプリ化し、予防接種のスケジュール作成や接種医療機関の確認、子育て支援サービスについて情報を受け取りやすくした。</li> </ul>
課題	「すくすくしめ☆Kids」の登録者が伸び悩んでいる。
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関する情報を入手する手段や学習しやすい環境を整える。</li> <li>子育てモバイルサービス「すくすくしめ☆Kids」のアプリを乳幼児全戸訪問等の機会に周知し、登録者を増やす。</li> </ul>

基本目標1(総合戦略)

1-c 子どもの障がいや発達に応じた支援を充実させる	所管課
●発達に関する相談や相談体制の充実 ●特別支援保育の充実 ●発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
加配保育士配置人数 (認可保育園等+学童保育所) 【総合戦略】	人	26	45		A
1-c		↗	31		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

発達に関する相談や相談体制の充実	発達に関する相談や子育て教室で経過を見ていくことで、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を早い時期から行える体制を整えます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達が気になる子どもやその家族に対する相談に応じ、必要な情報の提供や支援を行った。</li> <li>・療育が必要な子どもに対して、関係機関で連携し、障害児通所サービスの利用へつなげた。</li> <li>・未就学児及びその保護者を対象に心理相談員による個別相談や発達検査を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が抱える問題が多様化、複雑化してきており、子どもの発達に影響を及ぼしている。</li> <li>・障害児通所サービスの利用者・事業所数も増加傾向にある。</li> <li>・乳幼児発達相談事業は相談希望者が増加し相談希望者に十分対応できない状況がある。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達が気になる子どもとその保護者からの相談が円滑に行えるよう関係各課の連携強化を行う。</li> <li>・事業所等の関係機関と連携体制を維持し、適切な支援を行う。</li> <li>・心理相談員の委託日数を増やし、乳幼児発達相談事業の相談体制を拡充する。</li> </ul>
特別支援保育の充実	特別支援保育指導員の保育園などの巡回指導により、特別支援保育の質を向上させるとともに、加配保育士の適切な配置を促すなど、特別支援保育を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立保育園に加配保育士を配置し、私立教育保育施設の加配保育士配置に対する補助を行った。</li> <li>・町内の保育園・幼稚園等に対し、臨床心理士による巡回指導を行い、専門的な助言や相談に応じ障がい児に対する保育の充実を図った。</li> <li>・町内保育園職員を対象に、特別支援保育研修を実施し質の向上を図った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達が気になる子どもが増えている。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援保育研修の参加を町内全ての保育施設に促し、質の向上をさらに図る。</li> <li>・加配保育士の適正な配置を進める。</li> </ul>
発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	福祉、保健、教育、医療など関係機関の連携を強化し、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課(福祉・健康・学校教育・子育て支援)に相談窓口があり、臨床心理士が子どもやその家族からの相談を受け付けており、子どもの状況や必要な支援に応じて情報交換や協議を行った。</li> <li>・就学前から就学後まで切れ目のない支援を行うため、関係課や関係機関と情報を共有した。</li> <li>・障がい児などの就学について、相談会や教育支援委員会などを実施して就学に関する支援を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係課や関係機関との連携は進んでいるが、障がい児や発達が気になる子どもに関して、保育園・幼稚園との情報共有が十分ではないことがある。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前から就学後まで切れ目のない支援を行うため、関係課や関係機関と情報を共有する。</li> <li>・障がいのある子などの就学について、相談会や教育支援委員会などを実施して適切な就学に関する支援を行う。</li> </ul>

1-d 安心して子育てできる環境を整える	所管課
●妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制の強化 ●子育てに関する経済的負担の軽減	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
子ども施策に関する減免等経済的負担軽減事業数(国制度など町に実施判断がないものを除く) 【総合戦略】	件	8	9		B
1-d		↗	8		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制の強化	安心して出産や育児を行えるよう、母子の健康を保持するための支援を行うとともに、心身の負担を軽減するために出産や育児に関して不安のある方や出産後のサポートなどの支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>産前・産後やひとり親家庭など支援が必要な世帯に対しヘルパー派遣を行った。</li> <li>産後早期に低出生体重児・未熟児・双子をもつ母親に対して、訪問を実施した。また、同じ未熟児等をもつ親同士で交流する教室を開催した。</li> <li>身体的・精神的に不安定な状況にあるハイリスク妊婦を抽出し、妊娠中から出産後までを安心した状態で過ごせるよう相談・支援を行った。</li> </ul>
課題	未熟児教室は、対象者、参加者がともに少ない。
R6年度取り組み方針	未熟児教室を中止し、未熟児等をもつ母親へ個別の支援を行う。
子育てに関する経済的負担の軽減	社会経済状況や若い世代の子育てに関する意識の変化から、子育てに経済的な負担を感じる家庭が増加しているため、児童手当の支給や医療費の助成など子育て世帯への経済的な負担を軽減します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の支給を行った。</li> <li>子どもの医療費及びひとり親家庭の医療費に対する助成を行った。</li> <li>子育て世帯でひとり親以外の非課税世帯及びコロナによる家計急変世帯に子ども1人あたり5万円の給付を行った。(ひとり親世帯への給付は県が実施)</li> </ul>
課題	近隣自治体の助成内容が充実しているため、助成内容の拡大の要望がある。
R6年度取り組み方針	子ども医療費、ひとり親家庭の医療費の助成拡大を行う。

1-e 男女共同参画社会をつくる	所管課
●男女共同参画の推進	まちの魅力推進課

●生涯学習、文化活動の推進 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
審議会などにおける女性委員の割合 【総合戦略】	%	34.2	40.0		A
1-e			36.9		


判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

男女共同参画の推進①	性別に関わらず自分らしく生きることができる社会になるよう啓発するとともに、「志免町男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・「第2次志免町男女共同参画後期行動計画」の進捗状況調査を実施した。 ・志免町男女共同参画推進審議会や推進委員会の開催による進捗状況の管理を行った。
課題	・平成29年度に実施した住民意識調査では、「社会全体での男女の地位の平等感」について、男性優位であると考えている割合が7割を超えている。男性優位と考える女性の割合は80.6%、男性は63.7%と、それぞれ意識の違いがある。
R6年度取り組み方針	・住民に対しては、引き続き啓発活動を行い、職員に対しては、男女共同参画に関する計画等の周知を行い、意識の底上げを行う。
男女共同参画の推進②	地域や企業に対してワーク・ライフ・バランス についての周知と啓発を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町内企業にワーク・ライフ・バランスに関するチラシを郵送し、啓発を行った。
課題	・啓発手段(チラシの郵送)が限られている。
R6年度取り組み方針	・チラシ以外での啓発も併せて行う。

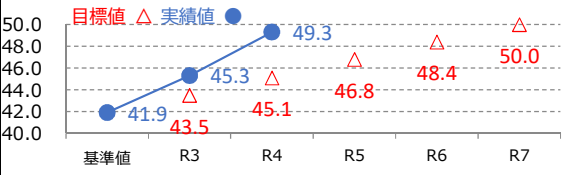
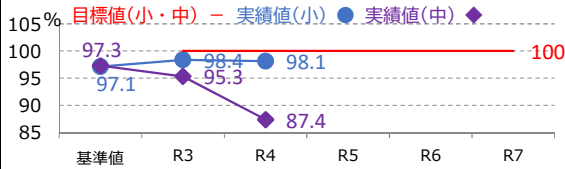
### 3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報の発信については、「すくすくしめ☆kids」アプリが後付けされたことで、町ホームページとアプリで2つの窓口があるために必要な人が知りたい情報までたどり着けないことがないように、町ホームページとアプリの連携など情報を探しやすい方がよい。</li> <li>・保育士の確保については、子育て関係については福岡市が手厚く行っているが財政規模が違うので、保育士の確保を行うのか、または子育て世帯への支援を手厚くするのか、どちらかを選んで取組を行う方が、住民の満足度も高まるのではないかと。</li> <li>・それぞれの課題がなぜ生まれたかを考察した上で、今後の具体策をたてていくべきではないかと。</li> <li>・子育てする親は、子どもの体調などにより予定していた講座や相談窓口に行けないことも多々あるため、個別対応してもらえる働きかけがあることは良い。</li> <li>・各種子育て講座や教室については、同じ境遇の親同士の交流が増えることが、その後の育児の悩みの解消にもつながるため、今後もこの取組が広がって子育てしやすい環境ができれば良い。</li> </ul>

判定:◎…現状の取り組みを推進すべきである、○…取り組みの一部を改善する必要がある、△…取り組みの大幅な見直しや新たな取り組みを追加すべきである

<b>総合戦略効果検証評価表</b> (事業実施年度:令和 04 年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	2. まちの未来を担う人材を育成する	関係課	学校教育課、社会教育課、まちの魅力推進課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

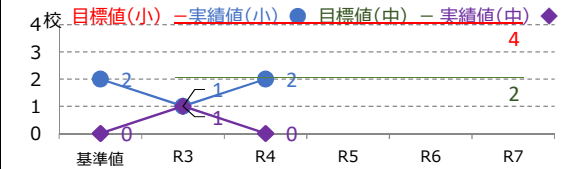
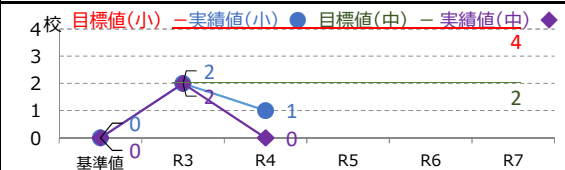
数値目標	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合【総合戦略】	%	41.9	45.1		a
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小6・中3)【総合戦略】	%	小 97.1 中 97.3	小 80.3 中 68.6		C

※全国平均値を100とした時の達成率を記載

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

<b>2-a 確かな学力、体力の向上を図る</b>	所管課
●確かな学力の向上 ●体力の向上	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
全国学力・学習状況調査において、全ての教科区分で全国平均を上回った学校数(小6・中3)【総合戦略】	校	小学校 2校 中学校 0校	小 4校 中 2校		B
2-a		小 2校 中 0校			
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において体力合計点が男女とも全国平均を上回った学校数(小5男女・中2男女)【総合戦略】	校	小学校 0校 中学校 0校	小 4校 中 2校		A
2-a		小 1校 中 0校			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

確かな学力の向上	確かな学力向上のため、「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」の3つの柱から取組を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・全国や県の学力調査の結果を踏まえ、各小中学校における課題を分析して3つの柱を基本とした志免町学力向上プランを策定し、町主催研修や実践交流会などを通して指導体制の改善や授業改善に取り組んだ。
課題	・「授業づくり」については、令和3年度と比較して小中の国語及び算数・数学ともに下回り、学力を四分位層に分けて分析すると下位層の児童生徒が増えている。 ・「習慣づくり」については、「家で自分で計画的に勉強する児童生徒の割合」が全国平均以下で、特に中学校では令和3年度の割合からも低下している。
R6年度取り組み方針	・「授業づくり」については、下位層の児童生徒の苦手としている問題を分析し、少人数指導の方法を工夫したり、個別最適な学びを保障するための授業づくりの改善に取り組む。 ・「習慣づくり」については、町内統一の「家庭学習の仕方」を基に、家庭で学習する目的を共有し、自ら学習する児童生徒の育成を丁寧に進める。 ・各校の「学力向上コーディネーター」を対象とした研修会を実施し、学校間で取組を交流しながら学力の向上を目指す。



## 基本目標2(総合戦略)

体力の向上	児童生徒が運動やスポーツをする機会を充実させ、体を動かす習慣づくりの取組を推進します。【総合戦略】
主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で計画的かつ継続的に「1校1取組」運動に取り組んだ。</li> <li>・志免町スポーツ推進委員の協力による小学校の体力測定を実施した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業以外で週3日以上運動やスポーツをしている児童生徒の割合が令和3年度を下回っている。</li> <li>・国の方針により、令和5年から令和7年間で休日の部活動の地域移行を完了させるようになっている。</li> </ul>
R6年度取組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図的に運動の機会を保障するとともに、「1校1取組」や体育の授業などの中で、友達との協働活動や目標の自己決定の場を工夫するなどし、運動の楽しさを味わわせる工夫を行う。</li> <li>・引き続き、志免町スポーツ推進委員の協力による小学校の体力測定を実施する。</li> <li>・土日の部活動の地域移行に向けて部活動指導員の増員及び勤務時間の拡充等を行う。</li> </ul>

<b>2-b 豊かな心を育てる</b>	<b>所管課</b>
●道徳教育の充実	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小6・中3) 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	小 90.1 中 89.3	小・中とも 100以上		B
2-b		<span style="color: red;">↑</span> 全国平均値 以上 小 99.0 中 71.6			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

道徳教育の充実	「ふるさと志免」を愛し、異文化を理解し、異なる価値観を受容する子どもを育てるため、自分ごととして「考え、議論する」道徳の授業を保護者に公開し、児童生徒の道徳性を育みます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール始動の年であり、郷土愛を町の道徳教育の重点価値項目として、道徳科授業の充実を目指した。</li> <li>・保護者や地域住民を対象に道徳科の授業を公開し、他人を思いやる心、郷土を愛する心など心の教育に対する理解を図った。</li> <li>・道徳に関する校内研修を実施し、道徳の授業の充実を図った。</li> </ul>
課題	・郷土を愛する意識は小中学校ともに、全国平均値を下回っており、中学校では令和3年度と比較しても大きく下回っている。
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの取り組みに基づき、小中学校ともに地域の方と、自分の住む地域をいかによりよく活性化していくか、そのために何が出来るかについて考え、実践する場を設け、郷土を愛する心を育む。</li> <li>・教育活動全体で児童生徒が周りから必要とされていることや自分が得意なことなどを実感できるように、児童生徒の活躍の場を意図的に設定する。</li> </ul>

<b>2-c 安全で快適な教育環境を整える</b>	<b>所管課</b>
●ICTを活用した教育環境の整備	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
授業にICTを活用して指導できる教職員の割合 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	77.3	小・中とも 100以上		S
2-c		<span style="color: red;">↑</span> 全国平均値 以上 127.5			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した教育環境の整備	ICTを活用できる教育環境の整備を進め、ICTを活用した学習、指導方法の改善や小中学校のプログラミング教育の体系化を図るとともに、一人ひとりへの個別最適化された学びを保障します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末や各教室に配置された電子黒板や書画カメラを活用し、全小中学校がICTを活用した授業をほぼ毎日行うことができ、児童生徒用のタブレットに関しては、毎日の教育課程外の時間に学習ソフトを活用して基礎学習に取り組み、発達段階に応じたタイピング練習を行った。</li> <li>・オンライン授業も滞りなく実施できた。</li> </ul>
課題	・中学校において、教科によってICT活用の向き不向きがあるため、活用状況に教科間差がある
R6年度取り組み方針	・引き続き、どの教員も指導内容に応じてICT機器を授業に活用できるように研修を行う。

基本目標2(総合戦略)

<b>2-d 社会にはばたく力を育成する</b>	<b>所管課</b>
●英語教育の充実 ●キャリア教育の推進	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合(中3) 【総合戦略】	%	70.7	100以上		S
※全国平均値を100とした時の達成率を記載		↑ 全国平均値以上	124.6		
2-d					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

英語教育の充実	児童生徒の英語コミュニケーションへの意欲や英語力を高めるため、小学校教員と中学校英語教員へ研修を啓発するとともに、ALTや学習ソフトの活用を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校にALTを配置した。</li> <li>英語学習支援員の配置、英語力に応じた学習支援ソフトやICT機器の効果的な活用を通して、生徒の英語力の向上に努めた。</li> <li>町の冬季の統一テストに小学6年及び中学3年生は英語科を取り入れ、児童生徒の英語力の向上を目指した。</li> <li>小学低学年の希望者を対象に夏季休業中にイングリッシュ・デイ・キャンプを実施し、英語への興味関心を高めることに取り組んだ。</li> </ul>
課題	なし
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き英語力に応じた学習支援ソフトやICT機器の効果的な活用を通して、生徒の英語力を向上させる。</li> <li>小学低学年から英語への興味関心を高める取り組みを充実させる。</li> <li>英検を受験する生徒に対する受験料の補助を継続し、英語力及び学習意欲を向上させる。</li> </ul>
キャリア教育の推進	自分で計画を立て、実行し、自分自身を振り返りながら、夢や目標をもつ子どもを育成するため、一人ひとりの「社会的・職業的自立」に向けて必要となる基盤や能力、態度を育てるキャリア教育を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間や特別活動などにおいて、職業人に学ぶ会など直接交流する機会を持った。</li> <li>中学校では高校の体験入学や出前授業などを積極的に行い、生徒に将来を実感できる活動を仕組んだ。</li> </ul>
課題	「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童生徒の割合は、令和3年度の値や全国平均値と比較すると低下している。
R6年度取り組み方針	実際に体験したり、職業人と直接交流したりするなど、児童生徒が夢や希望を持てる機会を工夫し、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。

<b>2-e 子どもの健全育成を推進する</b>	<b>所管課</b>
●子どもの活動機会の提供	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
町の行事や地域の活動、サークル活動などに参加した子どもの割合【総合戦略】	%	73.5	73.5		B
2-e		→	53.8		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

子どもの活動機会の提供	子どもたちの豊かな人間性を育むため、多様な体験活動を経験できる体制を整備し、体験活動の機会を増加させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域こども教室や生涯学習ジュニア講座などは、新型コロナウイルス感染拡大等に注視しながら縮小して開催した。</li> <li>平日の放課後、学校施設の運動場や体育館などをジュニア団体に貸出を行った。</li> <li>青少年が所属する文化・スポーツ団体に補助金を交付することでその活動を支援し、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を確保した。</li> </ul>
課題	なし
R6年度取り組み方針	引き続き、地域こども教室や生涯学習ジュニア講座を開催する。また、青少年育成団体への支援を行う。

基本目標2(総合戦略)

2-f スポーツ活動を支援する	所管課
●スポーツ活動の振興	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
スポーツ行事の参加者数	人	4,510	4,600		B
2-f		↑	102		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

スポーツ活動の振興	すべての世代の人々が交流を深め、心身の健全な発達と豊かな人間性を育むことができるよう、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のスポーツ活動を広く推進しているスポーツ協会への運営サポートと補助金の交付を行った。</li> <li>・スポーツやレクリエーションの普及啓発を行うスポーツ推進委員会の事務局として、活動を支援した。</li> <li>・新体力テスト会をスポーツ推進委員と実施内容を検討して開催した。</li> </ul>
課題	・子どもに関しては、塾や習い事があり、また、青年期から壮年期にかけては、仕事を中心となった生活になっているため、イベントの参加やスポーツをする機会が減少傾向にある。
R6年度取り組み方針	・スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携して、スポーツイベントやレクリエーション等の情報提供やスポーツ活動の普及啓発に取り組む。

2-g 生涯学習・文化活動を支援する	所管課
●生涯学習、文化活動の推進	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
講座内容に満足している講座生の割合	%	97.9	99.0		B
2-g		↑	97.8		

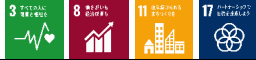
判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

生涯学習、文化活動の推進①	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、文化協会と連携し、情報提供を行うとともに、文化祭などの成果を発表できる機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町文化活動の推進役として様々な活動(七夕美術展、チャリティカラオケ、文化講演会、発表会・美術展等)をしている文化協会に助成金を交付した。</li> <li>・文化協会や商工会等と連携して11月初旬に芸能発表・屋外イベント・美術作品展示等を実施しているが、コロナ禍のため中止した。</li> <li>・図書館での教養講座はコロナ禍で中止した。</li> <li>・生涯学習館の講座では、受講生を増やすため、講座開催の周知についてホームページ、広報誌など、様々な手段で情報発信を行った。</li> <li>・「生涯学習館フェスタ」については、コロナ禍のため縮小して開催した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により講座の参加者が少なくなっているため、自主サークルへの移行がなくなっている。</li> <li>・文化協会会員の高齢化に伴い、団体の解散や脱退などが増加傾向にある。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、町民が参加しやすい講座を開催する。</li> <li>・文化協会と連携を強化し、様々な活動の支援と会員確保に向けた取り組みを継続していく。</li> </ul>
生涯学習、文化活動の推進②	町民が国際理解を深め、国際感覚を育むための講座などを開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人のための日本語講座を開催した。</li> <li>・国際交流事業(イングリッシュプログラム)はコロナ禍のため実施できなかった。</li> </ul>
課題	・現状の町が行っている国際交流事業(イングリッシュプログラム)はコロナ禍では実施が困難である。
R6年度取り組み方針	・引き続き、国際感覚を育む講座を開催する。

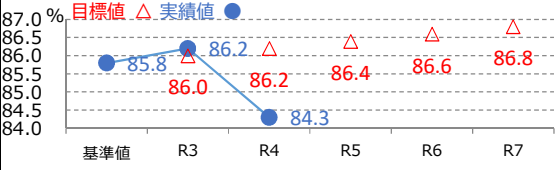
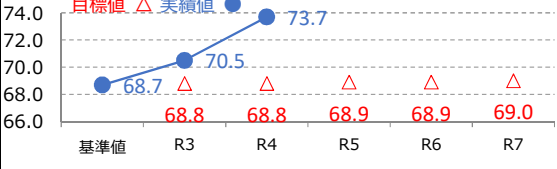
## 3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かな心を育てる」のKPIである「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小6・中3)」については、中学生くらいの年齢が一番勉強が忙しい時期で、町のことを考える余裕もなく、目標に達していないのは仕方がない部分もあるのではないか。</li> <li>・スポーツや文化などの各種行事については、以前と比べて塾や習い事で忙しい子どもも多く、コロナ禍において中止になったことを良い機会として、プログラム内容の見直しや行事の集約などにより軸となる行事を作る必要があるのではないか。</li> </ul>

判定:◎…現状の取り組みを推進すべきである、○…取り組みの一部を改善する必要がある、△…取り組みの大幅な見直しや新たな取り組みを追加すべきである

<b>総合戦略効果検証評価表</b> (事業実施年度:令和 04 年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	3. 誰もが健康に生き生きと暮らすことができるまちをつくる	関係課	健康課、福祉課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
自立高齢者(65歳以上で介護認定を受けずに生活している高齢者)の割合【総合戦略】	%	85.8	86.2		b
心身がともに健康だと感じる町民の割合【総合戦略】	%	68.7	68.8		a

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

<b>3-a 町民の健康意識を高め、健康管理・健康づくり活動を促進する</b>	所管課
●健康づくりの啓発と活動機会の充実 ●心の健康づくりの啓発と人材育成	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
日頃、健康のための取組(3項目以上)を行っている町民の割合【総合戦略】	%	65.1	67.8		S
3-a		69.4			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

健康づくりの啓発と活動機会の充実①	「健康しめ21」に基づき、健康に関する意識向上を図り、ライフステージに応じた町民の主体的な健康づくりを支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な健康づくりの推進の為、ウォーキングイベントを開催し、啓発活動を実施した。</li> <li>・生活習慣病の予防や健康意識の向上を目的に、インセンティブ事業「90日間体重測定チャレンジ」に取り組んだ。</li> <li>・不特定多数の方が参加する、健康しめ21推進イベント(文化祭と同日開催)は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況により中止した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常での行動制限があるため、町民の体力低下が危惧される。</li> <li>・健康づくりの意識や行動変容の取組は世代によって異なる。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりの意識をライフステージに応じて高めるため、ウォーキングイベントの開催や、健康しめ21推進イベントを開催する。</li> <li>・生活習慣病の予防や健康意識を高める「90日間体重測定チャレンジ」を継続して行う。</li> </ul>
健康づくりの啓発と活動機会の充実②	地域公民館など身近な場での健康づくりの機会を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・コロナ禍で中止していた栄養士・運動指導員の公民館への講師派遣を再開し、7町内会で活動を行った。
課題	・コロナ禍で公民館活動などが制限されていた。
R6年度取り組み方針	・地域教室が意欲を持って活動継続ができるように支援する。
健康づくりの啓発と活動機会の充実③	食生活改善推進会による親子料理教室や小学校での食育教育などを通じた食育推進を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・推進委員が中心となって小学校と保育園等での感染症対策を講じながら可能な範囲での食育を行った。
課題	・新たな推進員としての人材が不足している。
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して食育推進を支援できる体制を維持するため、ヘルスメイト養成教室を開催し、食生活改善推進員を担う人材を育成する。</li> <li>・地域での親子料理教室などの食育推進活動がより充実した内容となるよう、講師として栄養士を派遣する。</li> </ul>
心の健康づくりの啓発と人材育成	心の健康づくりについて、相談窓口の紹介などを行い、啓発するとともに、ゲートキーパーなどの自殺対策を支える人材を育成します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉士を増員し、随時相談対応できるよう拡充した。</li> <li>・町民及び役場職員を対象にしたゲートキーパー養成講座を開催した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で人とのコミュニケーションが希薄になり、悩みを抱え込む人が増加する傾向にある。</li> <li>・ゲートキーパーの認知度が低い。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知に継続的に取り組む。</li> <li>・ゲートキーパーの認知度や自殺予防の重要性を知ってもらうための啓発を行う。</li> </ul>

<b>3-b 地域で高齢者を見守り、支援する</b>	<b>所管課</b>
●町民の互助意識の啓発と町民主体の見守りの支援 ●地域ネットワークの構築	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
暮らしやすい地域であると感じる 高齢者の割合【総合戦略】	%	58.7	62.9		S
3-b		↗	69.6		
地域生活に心配になることが ないと感じる高齢者の割合 【総合戦略】	%	12.9	15.3		A
3-b		↗	13.8		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

<b>町民の互助意識の啓発と 町民主体の見守りの支援</b>	<b>町民の互助に対する意識を啓発し、町民主体による見守りを支援します。【総合戦略】</b>
主な取り組み状況	・高齢者見守り活動推進事業として、協定を結んだ町内会に、高齢者のみの世帯のなかで見守りに同意された方のリストを提供し、町民主体による見守り活動を支援した。
課題	・高齢者が増加する一方、地域コミュニティの希薄化などにより、見守りや支援の対象となる高齢者の存在やニーズを把握することが困難になってきている。
R6年度取り組み方針	・見守り活動を行う町内会に対し引き続き情報提供を行う。
<b>地域ネットワークの構築</b>	<b>地域ケア会議で地域課題を検討し、地域のネットワークを構築します。【総合戦略】</b>
主な取り組み状況	・地域包括支援センター職員と地域の医療・介護の専門職と一緒に地域ケア個別会議を行い、抽出された地域課題を解決するために、地域と事業所の間でどのようなつながりの場が必要か検討した。 ・地域ケア推進会議で地域の課題解決について、地域と事業所が連携してできることはないか協議した。
課題	・地域課題を地域ケア推進会議で検討していることが知られていない。 ・支援が必要な人は地域や社会とつながりがない人が多い。 ・地域や事業所などがどのような支援をしているのか知られていない。
R6年度取り組み方針	・地域ケア個別会議の参加者を拡充し、多様な視点で地域課題の抽出と解決策を検討する。 ・地域ケア推進会議で地域課題を検討していることを知っていただくために、広報紙で周知を継続する。



<b>3-c 高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援する</b>	<b>所管課</b>
●高齢者の交流場所の情報提供 ●高齢者の地域活動と社会活動の促進	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
シルバー人材センターへの加入人数 【総合戦略】	人	283	300		B
3-c		251			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

高齢者の交流場所の情報提供	高齢者が地域活動に参加できるよう、地域の交流の場となる居場所の情報を提供します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・生活支援コーディネーターに委託し、高齢者の居場所を掲載した居場所事例集を作成した。また、問い合わせがあった際には、希望に沿った居場所の情報を提供した。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・活動を再開する居場所も多いため、引き続き情報把握を行い、周知する。
高齢者の地域活動と社会活動の促進①	高齢者の地域活動を活性化するため、シニアクラブを支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・シニアクラブ連合会総会開催に係る支援、シニアクラブの周知(広報紙、ホームページ)、補助金の交付等を行った。
課題	・定年延長等、高齢者の居場所について選択肢が増えていることや役員の負担が大きいこと等によって、新規加入者が少なく、会員の高齢化が進み、会員数が減少している。
R6年度取り組み方針	・引き続き広報紙・ホームページで活動状況や会員募集について周知等の支援を行う。
高齢者の地域活動と社会活動の促進②	高齢者が就労を通して生きがいを感じながら地域社会で活躍できるよう、シルバー人材センターへの加入促進を図るため、事業活動を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・シルバー人材センターの周知(広報紙)、運営費の一部補助を行った。
課題	・定年延長等、高齢者の生き方の選択肢が多くなっており、会員数が伸び悩んでいる。
R6年度取り組み方針	・引き続き広報紙で活動状況や会員募集について周知等の支援を行う。

3-d 介護予防と健康づくりによる自立した生活を支援する	所管課
●フレイルや閉じこもりの予防機会の提供	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
公民館などでの介護予防教室に参加した高齢者の延べ人数 【総合戦略】	人	6,187	6,250		B
3-d		↑	1,042		


判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

フレイルや閉じこもりの予防機会の提供	転倒予防、フレイル及び閉じこもり対策として、介護予防教室を住まいから歩いて通える公民館などで開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で公民館での開催を止めていた介護予防教室を保健センターで開催した。</li> <li>・9月以降は一部の公民館で2か月に1度の頻度で介護予防教室を開催した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で介護予防教室の開催が制限されている。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療機関と連携して公民館等で介護予防教室を開催し、フレイル予防や、閉じこもり予防に取り組む。</li> </ul>

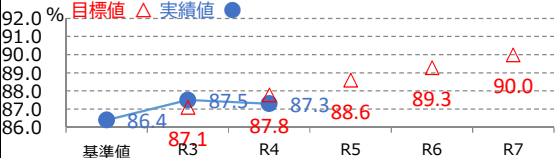
### 3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向けのスマホ教室が流行っているように、スマホを扱えるようになることも高齢者が前向きに生きる手段の一つだと思う。</li> <li>・話す機会が少ない高齢者も増えているため、若い人たちとの交流の場をつくるなどができれば、高齢者の希望の町になるのではないかと。</li> <li>・コロナ禍での外出制限により社会との接触が減少し、さらにサポート人材の不足も相まって高齢者の孤独化が進行しているため、高齢者の多様な要求に対応した、新たな仕組みづくりと広報活動が必要である。</li> </ul>

判定:◎…現状の取り組みを推進すべきである、○…取り組みの一部を改善する必要がある、△…取り組みの大幅な見直しや新たな取り組みを追加すべきである

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和 04 年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる	関係課	まちの魅力推進課、生活安全課、都市整備課、経営企画課、総務課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

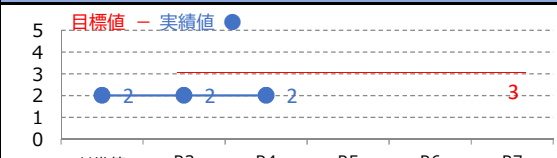
数値目標	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
これからも志免町に住み続けたいと思う町民の割合	%	86.4	87.8		b
		↑	87.3		

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

4-a まちの魅力を発信する

●イベントの情報発信と開催支援	所管課 まちの魅力推進課
-----------------	-----------------

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
まちの魅力発信イベント開催数 【総合戦略】	件	2	3		B
4-a		↑	2		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

イベントの情報発信と開催支援①	商工会や町内の団体などによる地域資源を活用したイベントなどの開催を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・商工会主催の「shoukouミニフェスタ」の開催を支援した。 ・住民団体である「志免68」のイベント、「タテコウヤライブ」を特別名義後援として支援した(チーム前向きの「夏まつり」も特別名義後援として支援したが、コロナにより中止となった)。
課題	・コロナ禍でのイベント実施自体が困難なものもあった。
R6年度取り組み方針	・これまでのとおり、商工会や町内の団体などのイベント開催を支援する。
イベントの情報発信と開催支援②	住民活動団体と連携し、まちを活性化するイベントなどを町内外へ発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・中の坪公園のイルミネーション点灯を実施し、住民活動団体(和太鼓とよさこい)の披露を行った。
課題	・コロナ禍で人が集まるイベントの実施が難しかった為、今後の通常開催に向けての人集めが不透明である。
R6年度取り組み方針	・これまでのイベントを継続し拡充しながら、他のイベントも検討する。

<b>4-b 地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する</b>	<b>所管課</b>
●新規創業者の育成支援 ●創業や事業拡大の支援を目的とした町有地や公共施設の利活用の促進 ★チャレンジプロジェクト	まちの魅力推進課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
起業塾の参加者数 【総合戦略】	人	8	10		S
4-b		↗	30		
産業振興の視点で町有地や施設を 利活用した件数(計画期間内累計)	件	1	2		B
4-b		↗	0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

新規創業者の育成支援	糟屋南部3町商工会で策定した創業支援事業計画に基づき、商工会との連携による町内の新たな創業者の育成支援と情報発信を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援に関する「起業塾」を開催した。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・引き続き、3町合同の創業支援に関する「起業塾」を行う。
創業や事業拡大の支援を 目的とした町有地や 公共施設の利活用の促進	町内の事業者の創業や事業拡大への町有地や公共施設の利活用を促進する機会をつくり、事業者の育成を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・総合福祉施設内レストランの利用について、チャレンジショップとしての運営が可能か商工会と協議した。
課題	・町有地や公共施設で利活用できる場所が特定できない。
R6年度取り組み方針	・引き続き、町有地や公共施設で利活用できる場所を検討する。

基本目標4(総合戦略)

4-c 地域ぐるみの防犯活動の促進と防犯環境を整える	所管課
●地域の防犯機能の強化 ●防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援 ●管理不全な空き家対策の実施	生活安全課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
日常から防犯対策を行っている町民の割合【総合戦略】	%	87.0	87.8		B
4-c		↑	80.9		
刑法犯認知件数【総合戦略】	件	241	210		S
4-c		↓	161		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

地域の防犯機能の強化	志免町地域安全安心センターを拠点として、地域の防犯機能を強化します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防犯の拠点として「安全・安心センター」内に志免交番があり、定期的に関連協議会に参加し、粕屋警察署管内・志免交番管内の犯罪及び交通事故について情報共有を行った。</li> <li>・地域へは「防犯ふくおか」による防犯活動等、「交番だより」による管内の状況と注意をお知らせするため、町内会での回覧を依頼した。</li> <li>・かすや中南部広域消費生活センターでは消費者問題の相談に対応した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民一人ひとりの防犯意識は高い傾向だが、さらに向上の余地がある。</li> <li>・犯罪被害を受ける高齢者が増加している。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民一人ひとりが防犯対策ができるよう粕屋警察署・志免交番と協力した取り組みや防犯指導員による出前講座、消費生活相談員による出前講座、広報・回覧等で「自助、共助」の方法についての啓発を行う。</li> <li>・犯罪被害を受ける年齢層の多くは高齢者のため、高齢者を狙った犯罪の手法等を周知し、犯罪への警戒心を喚起する。</li> </ul>
防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援	防犯指導員による青色回転灯付きパトロールカーでの地域防犯パトロールを行うとともに、地域の防犯灯の設置を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の登下校時間に防犯指導員が青色回転灯付きパトロールカーで町内を巡回した。</li> <li>・地域における犯罪防止のため、町内会が設置した防犯灯の設備費及び電気料金の一部を支援した。</li> </ul>
課題	なし
R6年度取り組み方針	・地域における犯罪防止のために、継続して町内会が設置する防犯灯への支援を行う。
管理不全な空き家対策の実施	管理不全な状態で放置されている空き家の所有者に、適正に管理するよう助言や指導を行うとともに、管理不全な空き家を早期に把握するため、防犯指導員による町内巡回を実施し、地域住民からの情報提供を呼びかけます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町内会や近隣の町民による空き家の情報提供を受け職員が現地確認を行い、管理不全な空き家については、所有者に適正管理の指導・助言を行った。
課題	・経済的な負担や相続の問題等で空き家の所有者による適正な管理が進まない。
R6年度取り組み方針	・空家等対策計画に基づき、管理不全の空き家の解消に取り組む。

4-d 災害時に迅速に対応できる防災体制を確立する	所管課
●消防団員の確保 ●自主防災組織の活動支援と人材育成	生活安全課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
日常から防災対策・準備している町民の割合【総合戦略】	%	68.1	69.0		S
4-d		↑	71.7		
消防団員の人数【総合戦略】	人	170	180		B
4-d		↑	147		
自主防災組織設置数【総合戦略】	組織	26	27		B
4-d		↑	26		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

消防団員の確保	地域防災力の要となる消防団員を確保します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・消防団員の活動内容を知ってもらうために、広報紙やホームページにて周知した。 ・消防団員確保のため、勧誘活動のほかに、分団管轄の町内会に募集チラシを回覧し、さらに、消防団員募集のパンフレットを作成して、町の行事等で配布した。
課題	・消防団員が年々減少している。
R6年度取り組み方針	・引き続き、勧誘活動のほか、分団管轄の町内会や関係機関などに募集チラシを回覧し、また、消防団に関心を持ってもらうように消防団の活動内容を広報紙やホームページにて周知する。
自主防災組織の活動支援と人材育成	自主防災組織の設置を促進するとともに、活動支援を行います。また、自主防災組織の中心となる人材を育成します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・NPO法人との協働事業で、自主防災組織の活動支援を行った。
課題	・結成しても実効性のある活動が継続しない。
R6年度取り組み方針	・日本防災士会福岡県支部と連携し、地域防災の要となる自主防災組織の結成、育成等の支援を行う。

<b>4-e 快適な住環境を整える</b>	<b>所管課</b>
●地域交通の利便性の向上 ●時代と地域特性にあった建築規制の見直し	都市整備課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
巡回バスの利用者数【総合戦略】	人	82,330	85,000		B
4-e		↑	52,850		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

地域交通の利便性の向上	町内公共施設などを利用する際の利便性向上のため、地域公共交通に係る専門部署を設けて、巡回バスを運行するとともに、時代やニーズにあった町内の交通手段について調査、研究します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町民の公共交通に対するニーズやオンデマンドバスの利用意向を調査するため、公共交通アンケートを実施した。 ・地域公共交通会議を開催し、オンデマンドバス運行に向けた取組を進めることについて関係者で合意を形成した。
課題	・福祉巡回バスとオンデマンドバスを比較すると、利便性は向上する一方で運行にかかる財政負担が大きい。 ・民間の公共交通機関の経営環境は厳しく、運賃改定や減便などにより新たな交通課題が発生する可能性がある。
R6年度取り組み方針	・町内の移動の利便性向上のためにオンデマンドバスを運行し、持続可能な交通機関となるよう、利用者増に向けた普及啓発及び運賃以外の収入確保に向けた取組を同時に進める。 ・民間公共交通機関の運行状況を注視しながら、オンデマンドバスの運行改善について地域公共交通会議で適宜協議する。
時代と地域特性にあった建築規制の見直し	高齢化がすすむ戸建ての住宅団地において、多世帯住宅や平屋住宅、バリアフリー住宅を建築しやすくするなど、時代と地域特性にあった建築規制の見直しを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・建築規制の見直しを行っている先行自治体の事例や緩和手法を調査した。
課題	・住民ニーズに合った建築規制の把握や、見直しに対する住民との合意形成がまだできていない。
R6年度取り組み方針	・令和5年度に実施する建築規制緩和に向けた検証を踏まえ、都市計画決定に関する諸手続きを進める。

<b>4-f 健全な財政運営を行う</b>	<b>所管課</b>
●ふるさと納税の充実	経営企画課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R4実績値		
ふるさと納税寄附額【総合戦略】	円	6億 5千万	9億		B
4-f		↑	1億 9千万		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ふるさと納税の充実	外部資金を獲得するため、従来のふるさと納税を充実させるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税といった新たな取組を活用します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・ふるさと納税について、町内外での返礼品提供事業者の新規開拓を進めるとともに、寄附額設定における経費割合を見直し、寄附が集まりやすい環境を整えた。 ・地域再生計画に基づく企業版ふるさと納税を募集し、1件の寄附をいただいた。 ・地域猫活動支援プロジェクトに対するクラウドファンディング型ふるさと納税を実施した。
課題	・前年と比較してふるさと納税の寄附額が大きく減少しており、他自治体と比較して返礼品の登録数や掲載しているポータルサイトも少ない。 ・クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税の対象となる事業がまだ少ない。
R6年度取り組み方針	・令和5年度から新たに委託を開始する事務代行事業者と協力して、寄附の柱となる返礼品の開発や返礼品提供事業者の新規開拓を進める。 ・クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税の対象となる事業の企画について、各課と連携して取り組む。

4-g 行政サービスの向上と情報化を進める	所管課
●ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化	総務課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
行政サービスに満足している町民の割合【総合戦略】	%	69.3	70.0		S
4-g			79.8		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化①	町民の多様なライフスタイルや新しい生活様式に対応できるよう、行政手続きのオンライン化やSNSによる情報発信などICTを活用した行政サービスを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政手続きのオンライン化を推進すべく、国でも特に住民の利便性向上に資する手続とされている子育て・介護関係全26手続及び転出・転入ワンストップサービスを開始した。</li> <li>デジタルデバイド(情報格差)をなくすため、スマートフォンの使い方等の相談窓口を設置した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン化できていない行政手続がある。</li> <li>デジタルデバイド(情報格差)がある。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外の行政手続のさらなるオンライン化を進める。</li> <li>デジタルデバイド(情報格差)をなくすため公民館におけるスマホ出張教室等を実施する。</li> <li>より迅速に分かりやすく情報発信できるようにするために、ホームページのリニューアルとその管理システムの更改を行う。</li> </ul>
ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化②	効率的な行政運営を行うため、ICTを活用した業務のシステム化とネットワーク化を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書管理システムの導入及び財務会計システムとともに電子決裁を開始し、ペーパーレスによる業務の本格的な運用を開始した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の業務システム標準化に向けて、標準化の対象となっていない業務がある。</li> <li>契約関係書類や議会資料等がペーパーレス化されていない。</li> </ul>
R6年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>「国民年金」「国民健康保険」等引き続き業務システムの標準化を進める。</li> <li>業務用スマートフォンや電子契約の導入等により情報化を進めつつ、運用の見直しを行う。</li> </ul>

### 3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレス化については、完全なペーパーレス化にはならないため、紙資料もあるハイブリッド方式が完成形ではないか。</li> <li>起業については、志免町はベッドタウンであり、また福岡市がスタートアップについて手厚く支援していることもあるため、ある程度すみわけが必要だと考える。志免町は住んでいる人が、ずっと住みつづけられるような住みやすい町をコンセプトに施策を進めた方が良いのではないか。</li> <li>4-bの2つのKPI判定について、それぞれ「新規創業者の支援」と「創業や事業拡大への公有地の利活用による支援」は、バクトルが違うものであり一概に結びつけられないため、判定が「S」と「B」と互い違いでも仕方ない。</li> <li>志免町をPRする方法として、広報部門と連携を図りながら、マスコミ機関に町の話を取り上げてもらえるような取組も必要である。</li> </ul>

判定:◎…現状の取り組みを推進すべきである、○…取り組みの一部を改善する必要がある、△…取り組みの大幅な見直しや新たな取り組みを追加すべきである